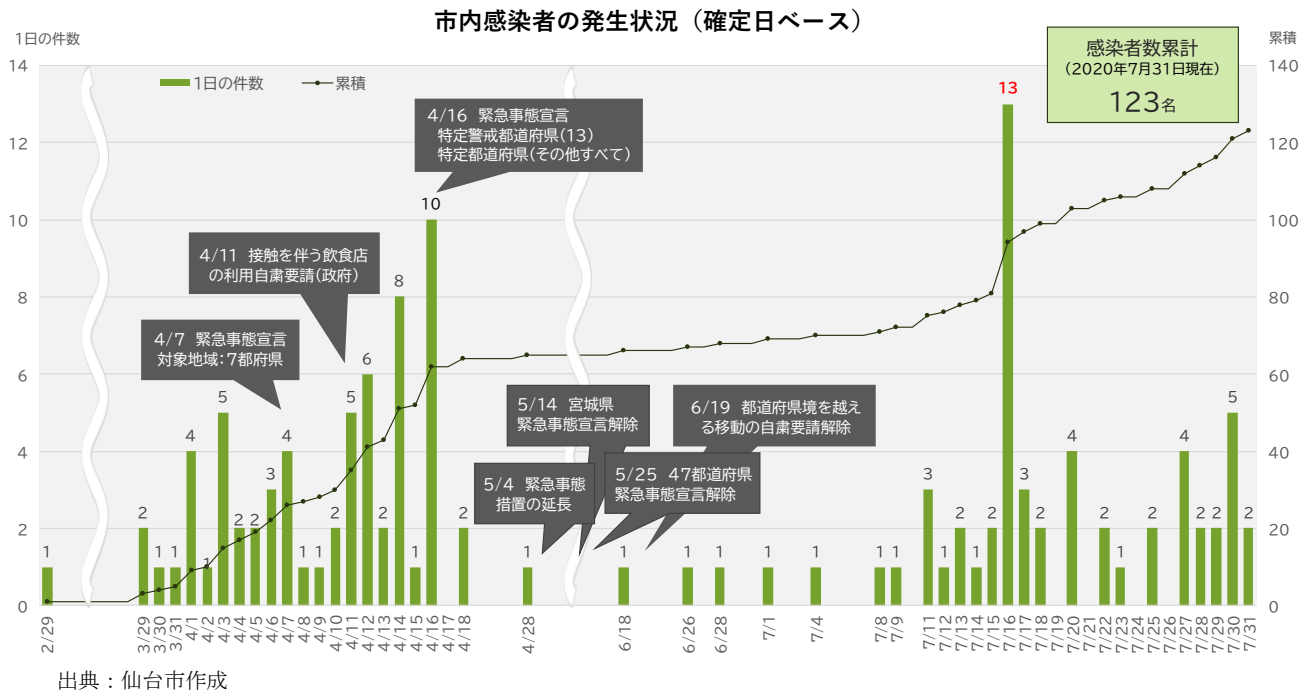


3 本市における感染状況

本市における7月31日までの感染者数の推移は、下記グラフのとおりとなっている。



2月29日、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号を下船された方の陽性が確認され、市内で初めての感染者となったが、その後約1か月間は新たな感染者は発生しなかった。3月末になり、市内の飲食店で飲食をともにした方々などから感染が広がり、市内で3か所のクラスターを確認するに至った。この間、3月29日から4月16日まで連続して新規感染者が発生し、4月16日には当該時点で1日あたりの感染者数が初めて2桁となる10名を数えた。

保健所では、感染者の行動歴などを調査する積極的疫学調査を行い、濃厚接触者を特定し検査につなげたほか、クラスターに関係している方々にドライブスルー方式で検体を採取してPCR検査を実施し、早期の患者発見に努めた。このほか、外出自粛や営業自粛の要請など様々な取り組みもあり、4月29日以降は新規患者の発生は見られなくなった。感染症指定医療機関に入院していた方や、宿泊療養施設で療養していた方の退院等も順次進み、5月27日までにすべての感染者が退院または療養解除となった。

その後は感染者の発生は確認されない日が続いていたが、6月18日に51日ぶりの感染者が確認されると、その後は数日おきに1～2名の感染者の確認が続いた。また、7月11日以降、ほぼ毎日数名の感染者が確認されているが、比較的若い世代の感染が多く見られた。7月16日には、飲食を共にした若者のグループでクラスターが発生したことにより、4月16日の感染者数を上回る13名の感染が確認されている。その後も、高齢者福祉施設で数名の感染者が確認されるなど、7月31日までの間、感染者の確認が続いた。